

普代村「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の成果と課題

取組事業名

- ・放課後子ども教室推進事業
- ・学校支援地域本部事業
- ・教育振興運動地域課題支援事業

岩手県普代村

学校名

- 普代村立普代小学校
- 普代村立普代中学校

※該当する内容に○

活動内容

	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
学校支援	○		○	○	○
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	学童クラブとの連携	その他
	○	○	○		
学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
	○	○	○	○	○
家庭教育支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
	○	○			
地域課題に応じた学習	高齢者支援	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
	○			○	

取組概要

【放課後子ども教室支援事業】ふだいっ子広場 対象：普代小学校 1 年生～6 年生

- ・「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の委託を受けて放課後や週末、長期休暇等に、地域の方々を指導者として、安心して文化活動やスポーツができる居場所を子ども達に提供する。
- ・放課後児童対策として働く親の支援のため延長利用も実施する。（ふだいっ子広場：月～土曜日、長期休暇等）

【学校支援地域本部事業】

- ・「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の委託を受けて、普代小、中学校に地域コーディネーターを配置し、学校での学習・課外活動と地域ボランティアとの連携を図る。

【教育振興運動地域課題支援事業】

- ・家庭・地域交流体験活動
- ・各実践班ごとの情報メディアとの上手な付き合い方に関する取組み

事業成果

【放課後子ども教室推進支援事業】

- 【そば打ち体験】（放課後子ども教室推進支援事業）
- 長期休暇における季節の子どもの体験活動の場として開催した。対象：普代小学校 1 年生～6 年生
- 3つのグループに分かれ、各グループに教委と大野キャンパスのスタッフがそれぞれ入り、講師の指導の下作業を進めた。
- 体験ツアーを通じて集団行動を学び、食に対する知識を深めた。
- 家庭では体験出来ないそば打ち体験をすることができた。そば粉のこね方、水加減、お湯加減、包丁の使い方等真剣に聞くことが出来た。
- 作るということは、危険が伴うという事も学ぶ事が出来た。
- 低学年の参加が多かったが、まとまって行動し、集合時間も良く守られていた。

水の割合は・・・わかったかな？



綺麗に薄くのぼすんだよ！



平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

事業成果

【学校支援地域本部事業】

<キャリア教育推進事業の一貫として行われている中学生の職場体験学習プログラム>

○実施したプログラムの結果をまとめ、プログラムの改善に活用してく。



琴の授業風景です！昨年に引き続き今年度も
お願いし、指導していただきました。



茶道体験のようすです！事前にお弟子さんからお点前を…
ハイ！本番の真剣な表情、お作法とは…

【教育振興運動地域課題支援事業】

<情報メディアとの上手な付き合い方>

- 各実践班とも中学生がリーダーとなって活動の進行を行った。
- 今日の研修会においては、子ども、保護者、学校、地域、行政それぞれの立場から活発な意見交換がなされた。
- 自分たちで決めたルールは、自分たちが自ら守り、実行していかなければならないという決意が見られた。

【啓発ポスター作りの様子】



小中学生が率先して取組んでいます！



立派な普及版ルールの完成です！



みんなで守りましょう！！



中学生が核となって進行しています！

課題と今後の取組

【放課後子ども教室推進支援事業】

- 教室において、使ったものはきちんと片づける等のルールを作っていたが、片づけができない言葉づかいが悪いなど、利用者のマナーに問題があった。利用登録時と利用期間中に利用者本人と保護者に利用時のルールについて周知していきたい。
- 自由時間の在り方を検討したい。

【キャリア教育支援事業】

- ボランティアの確保が難しい。
- 職場体験では多くの事業所に協力をいただいた。今後も、協力をいただけるよう交渉していきたい。

【教育振興運動地域課題支援事業】

- 情報メディアとの上手な付き合い方について、せっかく決めたルールでも全員が守るわけではないので、その都度課題を交流し、練り直していく必要がある。
- 定期的に活動を確認し、原因を皆で発見し取組みことが大事である。
- メディアルールだけにとらわれず、子どもの発達段階の中でメディアとのつながり、子どもの年齢にあった付き合い方、相手の気持ちになって考える、道徳の心を育てる大切さを読書活動等の中で耕せるよう見守る。
- 地域の中でのさまざまな体験、活動等を通して、子どもの豊かな感性を育むように守り育てることが急務と考える。